ラベル印刷ソフトウェア

導入ガイド

BarTender

および Seagull プリンタ ドライバの使用法

日本語版

バージョン 01.07.30.13.22
Japanese

HASP®は Aladdin Knowledge Systems, Ltd.の登録商標です。

MS-DOS®および Windows®は Microsoft Corporation の登録商標です。
SAP™は SAP Aktiengesellschaft の商標です。

BarTender®は Seagull Scientific, Inc.の登録商標です。

このマニュアルに記載されているその他の名前と商標は、各社の商標および登録商標です。

目次

第 1 章： インストール

BarTender のコンポーネント

以下の複数のコンポーネントをインストールする必要があります。

♦ **BarTender：** 複数のソースからデータを読み込み、バーコード ラベルや各種のラベルをデザインして印刷できる高度なプログラムです。

♦ **Commander (Enterprise 版のみ)：** あるトリガに対して、ユーザー定義のタスクを自動的に実行するプログラムです。この後の「*Commander の一般手順*」を参照してください。

♦ **Seagull ライセンス サーバー (Enterprise 版のみ)：** プリンタ ライセンスの監視および遵守用のソフトウェア ツールです。この後の「*Seagull ライセンス サーバー*」を参照してください。

♦ **BarTender セキュリティ キー (キー付き版のみ)：** パラレル ポートまたは USB ポートに接続するハードウェアのセキュリティ キーです。

♦ **普及版高速ラベル プリンタ対応 Seagull プリンタ ドライバ：** *第 3 章*を参照してください。

♦ **BarTender に必要な Windows コンポーネント**

- **Windows 95 用 Microsoft WinSock 2：** Windows 95 を使用して Seagull ライセンス サーバーまたは BarTender の

Enterprise 版を動作させるコンピュータには、必ずこのコンポーネントをインストールする必要があります。

- **Windows 95 対応分散型 COM (DCOM)：** Windows 95 を使用しているコンピュータで、データベースから読み込むラベルが必要な場合は、必ずインストールする必要があります。
- **Microsoft Data Access Components (MDAC)：** Windows 95/98/Me/NT を使用しているコンピュータで、データベースから読み込むラベルが必要な場合は、必ずインストールする必要があります。

インストールの手順

BarTender のコンポーネントをインストールするには、以下の手順に従います。インストールするコンポーネントは、使用するオペレーティング システムや BarTender の版によって異なります。BarTender の CD-ROM を使用すると、自動的に開始画面が表示されます。この画面から、すべてのソフトウェア コンポーネントをインストールすることができます。

WinSock 2 のインストール (Windows 95 のユーザーのみ)

Windows 95 コンピュータで Seagull ライセンス サーバーまたは BarTender の Enterprise 版を実行する場合は、以下のステップを実行します。Windows 95 以外の Windows コンピュータには、WinSock 2 をインストールする必要はありません。

1. まだ開始画面が表示されていない場合は、BarTender の CD-ROM を CD ドライブに挿入します。開始画面が自動的に表示されます。

2. 開始画面で、[**BarTender ラベル印刷ソフトウェア**]をクリックします。次に、[**Windows 95 用 WinSock 2**]をクリックします。
3. インストール プログラムの指示に従います。

セキュリティ キーの取り付け (キー付き版のみ)

ご使用の BarTender の版に、HASP®セキュリティ キーが付属している場合は、コンピュータのパラレル ポートか USB ポートに、セキュリティ キーを取り付ける必要があります (Enterprise 版では、Seagull ライセンス サーバーを実行するコンピュータにキーを取り付けます。この後の「*Seagull ライセンス サーバーのインストール*」を参照してください)。このセキュリティ装置が装着されていない場合、BarTender は、デモンストレーション モードでのみ動作します： テキスト フィールドおよびバーコードの任意の文字または数字の 1 つが変更されます。

パラレル ポート キーの取り付け

1. 使用するコンピュータのパラレル ポート(LPT1 を推奨)にキーを差し込みます。
2. 必要に応じて、Seagull Scientific キーの背面に他社ベンダのセキュリティ キーを接続します。
3. 必要に応じて、キー自体にケーブルを直接差し込みます。

USB ポート キーの取り付け

空いている USB ポートにキーを差し込みます。Windows 95 と Windows NT では、USB セキュリティ キーはサポートされていません。

Seagull ライセンス サーバーのインストール (Enterprise 版のみ)

BarTender の Enterprise 版を使用する場合は、Seagull ライセンス サーバーをインストールしてから、BarTender をインストールします。このプログラムは、ネットワーク上のコンピュータで、非表示かつ自動的に動作します。BarTender を実行するコンピュータにも、このプログラムをインストールできます。Seagull ライセンス サーバーと BarTender 間の動作はシームレスに行われるため、BarTender を使用するユーザーは、Seagull ライセンス サーバーが実行中であることさえ知る必要がありません。

1. ネットワーク上で、Seagull ライセンス サーバーのホストになるコンピュータを選択します。BarTender が動作するワークステーションから、ネットワークを経由してアクセス可能なコンピュータであれば、選択するコンピュータは任意でかまいません。ルーターを経由してライセンス サーバーとは別のマシンで BarTender を操作する場合は、Seagull Scientific 技術サポートまでご連絡ください (「*付録 B： 技術サポート*」を参照)。
2. BarTender に同梱された HASP®セキュリティ キーをコンピュータの背面に接続します。この前の「*セキュリティ キーの取り付け*」の説明に従ってください。
3. まだ開始画面が表示されていない場合は、BarTender の CD-ROM を CD ドライブに挿入します。開始画面が自動的に表示されます。
4. 開始画面で、[**BarTender ラベル印刷ソフトウェア**]をクリックします。次に、[**Seagull ライセンス サーバー**]をクリックします。

Seagull ライセンス サーバーの詳細および BarTender での Seagull ライセンス サーバーの機能についてのヘルプを表示するには、以下の操作を行います。

1. Seagull ライセンス サーバーのメニューの[**ヘルプ**]をクリックし、[**Seagull ライセンス サーバー ヘルプ**]を選択します。
2. BarTender のメニューの[**ツール**]をクリックし、[**環境設定**]を選択します。[**ライセンス管理**]タブを開き、[**ヘルプ**]ボタンをクリックします。

BarTender のインストール

BarTender を実行する各コンピュータについて、以下のステップを実行します。

1. まだ開始画面が表示されていない場合は、BarTender の CD-ROM を CD ドライブに挿入します。開始画面が自動的に表示されます。
2. 開始画面で、[**BarTender ラベル印刷ソフトウェア**]をクリックします。次に[**BarTender**]をクリックし、インストール プログラムによって表示された指示に従います。

注意

BarTender の Enterprise 版を使用する場合は、BarTender のインストール時に Commander プログラムも自動的にインストールされます (以下の「*Commander の一般手順*」を参照)。

DCOM のインストール (Windows 95 のユーザーのみ)

MDAC をインストールする予定の各 Windows 95 コンピュータについて、以下のステップを実行します。Windows 95 以外の Windows コンピュータには、DCOM をインストールする必要はありません。

1. まだ開始画面が表示されていない場合は、BarTender の CD-ROM を CD ドライブに挿入します。開始画面が自動的に表示されます。
2. 開始画面で、[**BarTender ラベル印刷ソフトウェア**]をクリックします。次に、[**Windows 95 用 Microsoft DCOM**]をクリックします。
3. インストール プログラムの指示に従います。

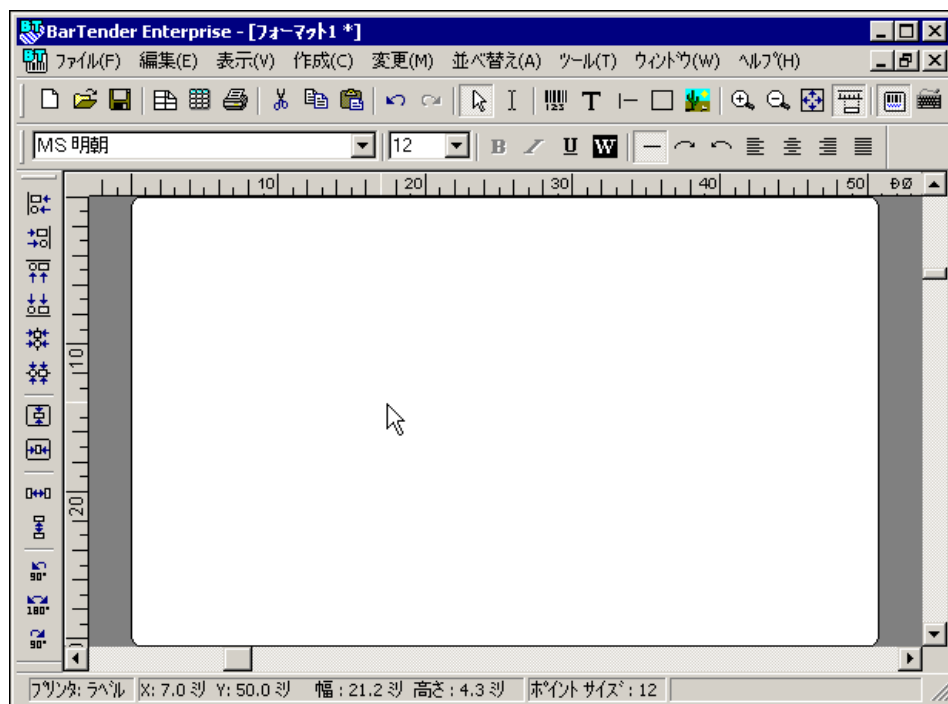
MDAC のインストール (オプション)

Windows 95/98/Me/NT コンピュータで、BarTender にデータベースからラベル データを読み込む場合は、各コンピュータについて、以下のステップを実行します (Windows 95 コンピュータでは、まず DCOM をインストールします。この前の「*DCOM のインストール (Windows 95 のユーザーのみ)*」を参照してください)。

1. まだ開始画面が表示されていない場合は、BarTender の CD-ROM を CD ドライブに挿入します。開始画面が自動的に表示されます。
2. 開始画面で、[**BarTender ラベル印刷ソフトウェア**]をクリックします。次に、[**Microsoft Data Access Pack (MDAC)**]をクリックします。
3. インストール プログラムの指示に従います。

第 2 章： BarTender の使用法

概要

この章では、ラベルのデザイン、ラベル フォーマットの変更、および印刷データの指定について説明していきます。まず、BarTender を起動します。空白のラベルが表示され、画面上に表示されたマウスのカーソルは、矢印型のポインタ モードになっています。

適切なプリンタの指定

ラベル フォーマットをデザインするときは、まず最初に、そのフォーマットで作成したラベルの印刷に通常使用するプリンタを特定します。それによって、そのプリンタで高速印刷できないフォントがラベルに含まれていたり、ラベル フォーマットのサイズがプリンタのメモリ以上になったりというようなことは少なくなります。

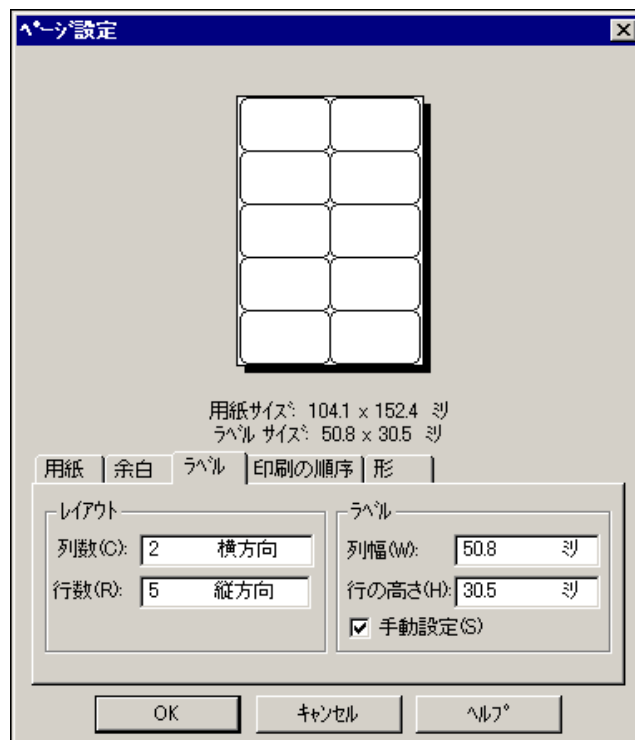
1. **メイン** ツールバーの[印刷]ボタン をクリックするか、[**ファイル**]メニューの[**印刷**]をクリックし、[**印刷**]ダイアログを表示します。
2. [**プリンタ名**]オプションの右にある下矢印をクリックし、インストールされているプリンタ ドライバの一覧を表示します。
3. 印刷するプリンタの名前をクリックします。

   注意

   目的のプリンタが一覧にない場合は、Windows の[**プリンタの追加ウィザード**]を使って、プリンタ ドライバをインストールします。この後の「*Seagull プリンタ ドライバのインストールと設定*」を参照してください。
4. [**閉じる**]をクリックします。

ラベル サイズの指定

1. **メイン** ツールバーの[ページ設定]ボタン 、または[**ファイル**]メニューの[**ページ設定**]をクリックするか、ラベル表示範囲の空白部分をダブル クリックして、[**ページ設定**]ダイアログを表示します。
2. [**用紙**]タブをクリックして、[**用紙サイズ**]と[**向き**] ([**縦**]または[**横**]) を指定します。

3. [**余白**]タブをクリックして、用紙の余白の[**上**]、[**下**]、[**左端**]、[**右端**]の値を指定します。
4. [**ラベル**]タブをクリックし、[**行数**]と[**列数**]の値をそれぞれ指定します (これらのオプションは、通常、レーザ プリンタのみで使用することができ、感熱式プリンタのラベル ストックには列と行 (またはこのうちのいずれか) が設定されています)。

5. ラベルの寸法を指定するには、[**手動設定**]チェック ボックスをオンにして、[**ラベル**]の[**行の高さ**]と、[**列幅**]の値を指定します ([**手動設定**]チェック ボックスがオンになっていなければ、ラベルの高さと幅は自動的に設定されます)。
6. [**OK**]をクリックします。

バーコードまたはテキスト オブジェクトの作成

1. バーコードを作成するか、テキスト領域 (「テキスト オブジェクト」と呼ばれます) を作成するかに応じて、**メイン** ツールバーの[バーコード]ボタン 、または[テキスト] ボタン をクリックします。
2. カーソルをラベル表示範囲に移動して、オブジェクトの中央になる位置をクリックします。

オブジェクトの選択と選択解除

オブジェクトを選択するには、それをクリックします。オブジェクトを選択すると、オブジェクトのサイズ変更に使用するハンドルが、四隅に 1 つずつと四辺の中央に 1 つずつ、合計 8 つ実線で示されます。オブジェクトを選択解除するには、そのオブジェクト以外の任意の場所をクリックします。

ラベル オブジェクトの移動

ラベル表示範囲のオブジェクトの位置を変更する簡単な方法は、マウスを使ってオブジェクトをクリックし新しい位置に移動することです。

ラベル上のオブジェクトを別のラベルに移動するには、この後の「*ラベル オブジェクトのコピー、切り取り、貼り付け*」を参照してください。

オブジェクトの引き伸ばしとサイズの変更

ラベル オブジェクトを 1 回クリックして選択してから、オブジェクトの枠上にある四角形の小さなハンドルをどれかドラッグすると、ラベル オブジェクトのサイズが変わります。

1. オブジェクトを選択し、マウスのポインタを四隅のハンドルの 1 つに合わせて、高さと幅を変更します。単一方向にのみサイズ変更するには、四辺のハンドルの 1 つにポインタを合わせます。カーソルは、適切な位置に来ると両端がとがった矢印に変わります。
2. オブジェクトが目的のサイズになるまで、そのハンドルをクリック アンド ドラッグします。

ラベル オブジェクトのコピー、切り取り、貼り付け

Windows のクリップボードの使用法

Windows のクリップボードと、[**コピー**]、[**切り取り**]、[**貼り付け**]ボタンを使用して、バーコードやテキスト オブジェクトを、別のラベル フォーマットや現在のラベル フォーマットの別の場所にコピーして (または切り取って) 貼り付けることができます。詳細については、Windows の文書を参照してください。

クリック アンド ドラッグの使用法

オブジェクトは、ラベル フォーマット上の新しい場所にクリック アンド ドラッグすることもできます。CTRL キーを押してこの操作を行うと、新しい場所にコピーが作成されます。

または、右クリックしてから、目的の場所にドラッグすることもできます。マウス ボタンを離すと、ポップ アップ メニューが表示されます。メニューの[**ここにコピー**]をクリックします。

オブジェクトをラベル表示範囲から削除する

オブジェクトを選択し、DELETE キーを押すか、[**編集**]メニューの[**削除**]をクリックします (オブジェクトをラベル表示範囲から除去し、同時にその仕様のコピーを Windows クリップボードに保存するには、[**削除**]コマンドではなく[**切り取り**]コマンドを使います)。

テキストまたはバーコードオブジェクトのデータソースの指定

通常、ラベルのデータは、さまざまなソースから取り込まれます。BarTender で作成されたラベル フォーマットには、以下のような情報を取り込むことができます。

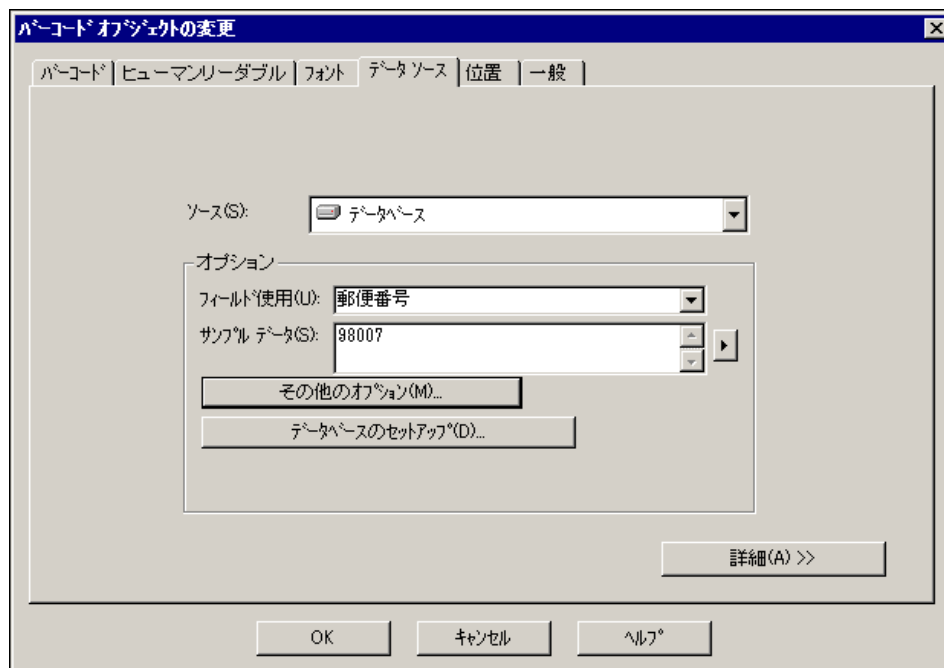
♦ 区切り付きテキスト ファイル、固定幅テキスト ファイル、ODBC (オープン データベース接続性) 対応のデータベースとスプレッド シート、SAP IDoc などの、データベースに保存されたデータ

♦ Visual Basic スクリプトで生成されたデータ

♦ コンピュータのシステム日付および時刻

♦ 画面上のラベルに直接入力したデータ

ラベル オブジェクトのデータ ソースを設定するには：

1. ラベルのデータを変更するラベル オブジェクトをダブルクリックします。**選択された ... オブジェクトの変更**のタブ ダイアログが表示されます。

2. まだ表示されていない場合は、[**データ ソース**]タブをクリックして、[**データ ソース**]プロパティ ページを表示します。
3. [**ソース**]ドロップ ダウン リストから目的のデータ ソースを選択した後に、このタブの[**オプション**]にあるソース固有のパラメータを設定します。

ソースとして[**データベース**]を選択した時点でデータベースの設定が済んでいなければ、[**データベースのセットアップ**]ボタンをクリックします。この後の「データベースのセット アップ」を参照してください。

複数のデータ ソースのサブ文字列を連結するには:

場合によっては、複数のデータ ソースの情報を単一のバーコード、またはテキスト オブジェクトに配置しなければならないことがあります。このような場合は、複数データ サブ文字列を連結し、単一文字列の出力として扱います。この操作を行うには、以下の手順に従います。

1. **選択された . . . オブジェクトの変更**ダイアログの[**データ ソース**]タブにある[**詳細**]ボタンをクリックします。
2. [**サブ文字列一覧**]の下にあるツールバーの[新規作成]ボタン をクリックし、サブ文字列を追加作成します。

データの確認、シリアル番号化、プロンプトの作成など、データ ソース関連の詳細トピックについては、BarTender のヘルプを参照してください。

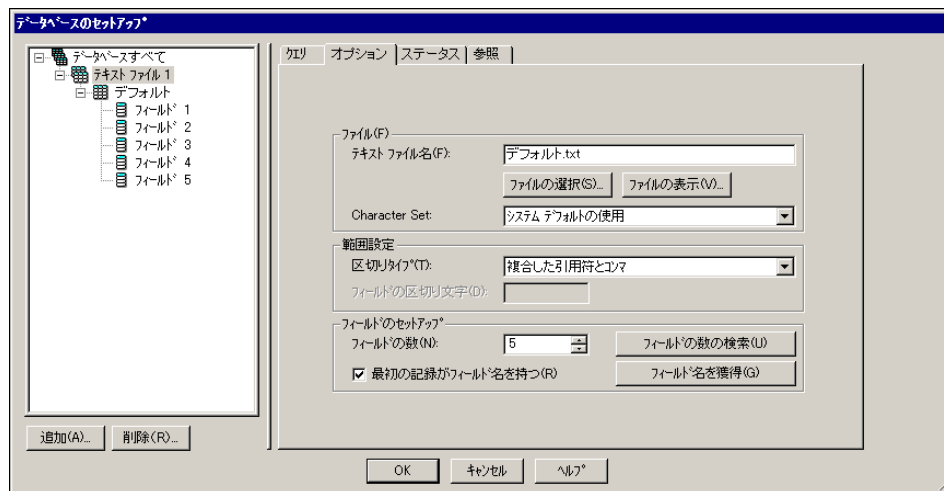
データベースのセットアップ

部品一覧や顧客一覧など、データ リストを使用してラベルを印刷するのが望ましい場合があります。それには、ラベルのデータをデータベースから読み込む必要があります。BarTender は、以下のデータベース タイプのデータを読み込むことができます。

- 区切り付きテキスト ファイル、および固定幅テキスト ファイル
- ODBC (オープン データベース接続性) 対応のデータベースとスプレッドシート

- SAP IDoc

BarTender でデータベースからの読み込みを指定するには：

1. BarTender の**メイン** ツールバーにある[データベースのセットアップ]ボタン をクリックして、[**データベースのセットアップ**]ダイアログを開きます。[**データベースのセットアップ**]ダイアログの中央に、[**データベース ウィザードの追加**]が表示されます。

2. [**データベース ウィザードの追加**]により、データベースの設定に必要な手順が示されます。

テーブルの結合、複数データベースからのデータ読み込み、およびクエリの指定については、BarTender のヘルプを参照してください。

バーコードのコード体系の変更

1. バーコードをダブルクリックして、[**バーコード オブジェクトの変更**]ダイアログを表示します。
2. [**バーコード**]タブをクリックします。
3. [**コード体系**]ボックスの右にある下向矢印をクリックして有効なバーコードの一覧を表示します。
4. 目的のコード体系の名前をクリックします。
5. [**OK**]をクリックします。

フォントの変更

1. バーコードまたはテキスト オブジェクトをダブルクリックします。**選択された ... オブジェクトの変更**ダイアログが表示されます。
2. [**フォント**]タブをクリックします。
3. 必要に応じて、書体名、サイズ、斜体、太字、拡大縮小、およびスクリプトを変更します。
4. [**OK**]をクリックします。

ラベル オブジェクトのプロパティに対するその他の変更

オブジェクトをどれかクリックすると、そのオブジェクトのタイプに対応した**選択された ... オブジェクトの変更**ダイアログが表示されます。タブをクリックして、該当するプロパティ ページを開きます。

ピクチャのインポート

この手順は、ラベル間でピクチャが変わらない場合に使用します。

1. **メイン** ツールバーの[ピクチャ]ボタン をクリックします。
2. ピクチャを配置する場所をクリックします。ラベル フォーマットにサンプル ピクチャが表示されます。
3. そのピクチャをダブルクリックして、[**ピクチャ変更**]ダイアログを表示します。
4. [**種類**]オプションを[**埋め込みピクチャ**]に設定した状態で、[**ピクチャの選択**]ボタンをクリックし、[**ピクチャの選択**]ダイアログを表示します。
5. [**ピクチャの選択**]ダイアログは、標準的な Windows ディレクトリにアクセスするためのダイアログです。このダイアログを使用して、インポートするピクチャの位置を確認し、それをダブルクリックします。処理が終わると、自動的に[**ピクチャ変更**]ダイアログに戻ります
6. [**OK**]をクリックします。

ラベル表示範囲にピクチャを配置した後は、この前の「*ラベル オブジェクトの移動*」で説明したように、配置を変更することができます。

ラベルの印刷

1. **メイン** ツールバーの[**印刷**]ボタン 、または[**ファイル**]メニューの[**印刷**]オプションをクリックし、[**印刷**]ダイアログを表示します。

2. 適切なプリンタ名が選択されていることを確認します。
3. ラベル フォーマットのオブジェクトに対してデータベース ファイルのデータが使用される場合は、[**データベースの使用**]チェック ボックスをオンにします。[データベースのセットアップ]ボタン を使用して、[**データベースのセットアップ**]ダイアログを表示することができます。
4. ラベルごとに必要なコピーの数を[**重複したラベル**]オプションに入力します。
5. [**印刷**]ボタンをクリックすると、ラベルの印刷が開始します。

既存の BarTender フォーマットからの開始

BarTender には、定義済みのラベル フォーマットが用意されています。その中に目的に近いフォーマットがあれば、そのフォーマットを使用する方が、まったく新しく作成するよりも手早く処理できます。

あらかじめデザインされたラベル フォーマットを表示するには:

1. [**ファイル**]を選択します。
2. [**開く**]を選択します。
3. [**ファイル形式を開く**]ダイアログで、BarTender のインストール ディレクトリにある **Samples** フォルダをダブルクリックします。
4. ラベル フォーマット名を 1 回クリックします。ダイアログの[**プレビュー**]ウインドウに、ラベル フォーマットのプレビューが表示されます。

目的の用途に近いラベル フォーマットがあれば、そのフォーマット名をダブルクリックし、BarTender でそれを表示します。

必要な変更を加えたら、[**保存**]ではなく[**名前を付けて保存**]を使用して、新しいラベル フォーマットにその値を保存します。

BarTender ヘルプへのアクセス方法

ヘルプ システムにアクセスするには、以下の手順に従います。

メイン ヘルプ ウィンドウを開くには:

[**ヘルプ**]メニューの[**BarTender ヘルプ**]をクリックします。

操作に応じたヘルプにアクセスするには:

- 各ダイアログで[**ヘルプ**]ボタンをクリックするか、F1 キーを押します。

  または

- 特定のメニュー オプションに関するヘルプは、そのメニュー オプションを反転表示して F1 キーを押します。

ヘルプの使用法とカスタマイズの詳細については、ヘルプ システムの「*BarTender のオンライン ヘルプの使用法*」の項目を参照してください。

Visual Basic のヘルプについては、[**ヘルプ**]メニューの[**Visual Basic スクリプトヘルプ]**を選択します。この操作により、デフォルトの Web ブラウザが起動して、Microsoft の完全版 Visual Basic スクリプトのヘルプ文書が表示されます。

BarTender のツール (Enterprise 版)

Commander

注意

この節の内容は、BarTender の Enterprise 版にのみ適用されます。

Commander は、ユーザーが指定したトリガに対してシステムを監視し、定義済みのコマンドを 1 つ以上実行することで、そのトリガを処理するプログラムです。たとえば、Commander は、ネットワーク上のディレクトリを監視し、指定されたファイルを検出した場合は、それに対処することができます。Commander は本来 BarTender のラベル印刷タスクを自動的に実行するように設計されていますが、Commander を使用して、トリガに応じて任意のオペレーティング システム コマンドを投入することができます。

通常、トリガは別のアプリケーションによって生成されます。ファイルをトリガにする場合は、トリガによって実行されるタスクが読み込むデータを、そのファイルに格納しておくことができます。トリガ ファイルには、特別なスクリプトやコマンド ラインも格納できます。

Commander 使用例のシナリオ：

受注アプリケーションで、受注データをテキスト ファイル データベースに書き込み、Commander が監視するディレクトリにそのファイルを保存します。Commander はそのファイルを検出し、BarTender を起動して、ファイル内のデータを読み込んでラベルの印刷命令を BarTender に送るように設定されたラベル フォーマットを開きます。

Commander の一般手順

Commander の起動

Commander を起動するには、[**スタート**]メニューの[**Seagull**]グループにある Commander のアイコンをダブルクリックします。以下は、最も一般的なタスクの処理ステップです。その他のタスクと詳細については、Commander のヘルプを参照してください。

Commander のタスク一覧の作成/変更

Commander の動作は、トリガとそれを処理するタスクを識別するタスク一覧によって決定されます。タスク一覧を作成するには、以下のステップを実行します。

1. タスク一覧の[新規作成]ボタン をクリックして、新しいタスク一覧ファイルを作成するか、[**ファイル**]メニューの[**新規**]を選択します。既存のタスク一覧を変更するには、[**開く**]ボタン を選択するか、[**ファイル**]メニューの[**開く**]を選択してタスク一覧ファイルを検索し、[**開く**]をクリックします。
2. ツールバーにあるタスクの[新規作成]ボタン をクリックして新しいタスクを定義するか、[**タスク**]メニューの[**追加**]を選択します。既存のタスクを編集する場合は、タスクを反転表示してツール バーの[プロパティ]ボタン をクリックするか、[**タスク**]メニューの[**プロパティ**]を選択します。
3. [**タスク オプション**]ダイアログを使用して、タスクの詳細を入力し、タスクがトリガされると実行するコマンドを選択して設定し、[**OK**]をクリックします。

4. タスク一覧に必要な各タスクに対して、ステップ 2 と 3 を繰り返してから、タスク一覧を保存します。

Commander のタスクの削除、移動、再配列

一覧からタスクを削除するには、該当するタスクを反転表示し、ツールバーの[削除]ボタンをクリックするか、DELETE ボタンを選択するか、または[**タスク**]メニューの[**削除**]を選択します。タスクは、必要に応じて[**編集**]メニューの[**切り取り**]、[**コピー**]、[**貼り付け**]を使用して再配列するか、別のタスク一覧へ移動します。

Commander のタスク一覧の実行

Commander のタスク一覧を実行するには：

1. [開く]ボタン をクリックするか、[**ファイル**]メニューの[**開く**]を選択して、タスク一覧を開きます。
2. 実行するタスクをそれぞれ反転表示して、[**タスク**]メニューの[**有効**]を選択し、タスクを有効にします。
3. [検出開始]ボタン をクリックしてトリガ検出を開始するか、[**ツール**]メニューの[**検出開始**]を選択します。

Seagull ライセンス サーバー

注意

この節の内容は、BarTender の Enterprise 版にのみ適用されます。

Seagull ライセンス サーバーは、プリンタ ライセンスの監視および遵守用のソフトウェア ツールです。このツールは、LAN 上のすべてのコンピュータで自動的に動作し、LAN 上の

BarTender クライアントを監視します。BarTender が印刷ジョブを開始すると、Seagull ライセンス サーバーはそのつど、使用中のプリンタの総数を把握します。

Windows NT、Windows 2000、または Windows XP のコンピュータでは、実際にユーザーがログ インしているかどうかにかかわらず、そのコンピュータがオンになっている場合は常に実行する Windows のサービスの 1 つとして動作するように Seagull ライセンス サーバーを設定できます。

インストールの手順については、「*Seagull ライセンス サーバーのインストールと設定*」の節を参照してください。Seagull ライセンス サーバーの操作方法の詳細については、Seagull ライセンス サーバーのヘルプを参照してください。

第 3 章： Seagull プリンタ ドライバの インストールと設定

概要

この章では、Seagull が提供する Windows 版プリンタ ドライバのインストール方法について説明していきます。また、プリンタの印刷機能を最大にする方法や、シリアル ポート経由の通信を改善するための情報も示します。

プリンタ ドライバのインストール方法

操作の手順

1. Windows の[**プリンタの追加ウィザード**]を起動するには：
   a. [**スタート**]ボタンをクリックします。
   b. [**設定**]を選択します。
   c. [**プリンタ**]を選択します。[**プリンタ**]ダイアログが開きます。
   d. [**プリンタの追加**]をダブルクリックします。
2. [プリンタの追加ウィザード]の各ページで、質問に答えて[**次へ**]をクリックします。表示されるページは、Windows のバージョンと、質問への回答内容に応じて異なります。いずれにしても最後に[**ディスク使用**]ボタンのページが表示されます。

3. プロンプトが表示されたら、[**ディスク使用**]をクリックし、ディスク ドライブと、プリンタ ドライバ ファイルのディレクトリ パス (通常は **`D:¥`**) を入力します。NT 4.0 のユーザーは、**`D:¥`**ではなく、**`D:¥Drivers¥NT4`** と入力します (使用する CD-ROM ドライブに異なる文字が設定されている場合は、**`D`** の代わりに該当する代替ドライブ文字を入力)。
4. テスト ページの手順を除き、**プリンタの追加**ウィザードを続行します (旧タイプの 9 ピンまたは 25 ピンのシリアル ポートを使用する場合は、所定の設定値を指定するよう求めるメッセージが表示されます。詳しくは、この後の「*シリアル通信*」の節を参照してください)。

注意

テスト ページを印刷するかどうか確認するメッセージが表示されたら、[**いいえ**]を選択してください (Windows のテスト ページ手順では、フル ページを印刷できるレーザー プリンタ、インクジェット プリンタ、またはドットマトリックス プリンタを使用することが前提となっているため、お手持ちの感熱式ラベル プリンタでテストページを印刷しても、適切に処理されない可能性があります)。

ドライバのインストール中に起こり得るエラー

プリンタ ドライバのインストール中に、すでに使用しているファイルやドライバに関するエラー メッセージが表示された場合は、以下のステップを実行します。

1. Windows を再起動します。
2. Windows の再起動時に、Microsoft Office のショートカット バーなど、自動的に起動したプログラムが開いている場合は、それらをすべて閉じます。

3. インストールを再試行します。

シリアル通信

概要

ご使用のコンピュータで、パラレル ポート、USB ポート、またはイーサネット接続のいずれかを利用できる場合は、これらの使用をお勧めします。これにより、プリンタの性能が向上するとともに、どのような種類のケーブルを使ったらよいか迷うこともなくなります。

ただし、プリンタによっては、9 ピンまたは 25 ピン (RS-232) のシリアル ポートしかないものもあります。この節では、前述の旧タイプのシリアル ポート通信で発生する障害のうち、最も一般的な例をいくつか挙げながら、Windows の最適な設定方法と、適切なシリアル ケーブルの選択方法について説明します。

注意

> シリアル通信に関する問題の詳細については、ご使用のプリンタ ドライバのヘルプで「*シリアル通信*」の項目を参照してください。

設定とケーブルに関する問題

コンピュータとプリンタのシリアル ポートは、設定が同一でなければ、通信の信頼性は保証されません。また、シリアル ケーブルを内部的に接続する方法は複数あり、シリアル ケー

ブルを見ても、それがどのように接続されているかはわかりません。

コンピュータとプリンタとのシリアル通信を制御するのは、印刷を実行する BarTender などのプログラムではありません。この点が重要です。シリアル通信のモードは、以下により制御されます。

- プリンタのシリアル ポートの設定
- コンピュータのシリアル ポートの設定
- 使用するシリアル ケーブルの種類

シリアル ポートの設定

シリアル通信は、以下のパラメータによって制御されます。これらのパラメータは、プリンタとコンピュータの両方で同一に設定する必要があります。

- **ボー率：** プリンタがデータを受信するときのレートです。1 秒あたりのビット数で表します。一般的な値は、2400、4800、9600、19200、38400、および 57600 ボーです。ごく一般的なデフォルト設定値は 9600 です。最高レートを設定しておくと、プリンタの機能が保証されます。このレートは、シリアル通信用の各種パラメータを設定してみて試行錯誤しながら見つけてください。

- **データ ビット** (一般に「ワード」長またはバイト長と呼ばれます)： プリンタに送出される各文字を符号化するために使用するビット数を指定します。旧タイプのプリンタではデフォルト値が **7** になっていることがありますが、最も一般的な値は **8** です。

- **パリティ ビット：** 通常、送信済み文字のデータ ビットの後でエラー チェック用として送信される任意の追加ビットです。設定可能値は、[**奇数**]、[**偶数**]、[**なし**]です。
- **ストップ ビット：** 送信済文字の最後に付加するポーズの長さを指します。最も一般的な設定値は、1 ストップ ビットです。
- **フロー コントロール** (一般に「ハンドシェーク方式」と呼ばれます)： [**ソフトウェア**] (**Xon/Xoff** とも呼ばれます) または[**ハードウェア**]に設定することができます。フロー コントロールでは、[**なし**]は使用できません。フロー コントロールを無効にすると、プリント ジョブに間欠的な障害が発生するか、プリント ジョブの処理自体が適切に行われません。

  注意

  > ハンドシェーク方式の選択についての詳細は、ご使用のプリンタ ドライバのヘルプで、フロー コントロール (ハンドシェーク) の設定に関する項目を参照してください。

プリンタでのシリアル パラメータの設定

DIP スイッチの設定か、プリンタのフロント パネルからアクセスしたメニュー システムを使って、プリンタのシリアル ポートの設定を制御します。詳細については、使用するプリンタの文書を参照してください。

大半のプリンタでは、前述のパラメータをすべて変更することはできません。必要な設定を決める場合は、使用するプリンタの説明書を熟読のうえ、Windows と同じ設定を行うようにしてください。

Windows でのシリアル パラメータの設定

プリンタ ドライバのインストール時に指定したシリアル ポートの設定値を変更する必要がある場合は、以下の手順に従って、シリアル ポートを設定します。

Windows 95、Windows 98、および Windows Me

1. Windows の[**スタート**]ボタンをクリックします。
2. [**設定**]を選択して、[**プリンタ**]を選択します。[**プリンタ**]フォルダが表示されます。
3. 設定を変更するプリンタ上で、マウスの右ボタンをクリックし、[**プロパティ**]オプションを選択します。[**プロパティ**]ダイアログが開きます。
4. [**詳細**]タブをクリックして、[**ポートの設定**]ボタンをクリックします。
5. 必要に応じてポートの設定を調整し、[**OK**]を選択します。
6. もう一度[**OK**]を選択して、プリンタの[**プロパティ**]ダイアログを終了します。

Windows NT、Windows 2000、および Windows XP

1. Windows の[**スタート**]ボタンをクリックします。
2. [**設定**]を選択して、[**プリンタ**]を選択します。[**プリンタ**]フォルダが表示されます。
3. 設定を変更するプリンタ上で、マウスの右ボタンをクリックし、[**プロパティ**]オプションを選択します。[**プロパティ**]ダイアログが開きます。
4. [**ポート**]タブをクリックします。
5. ポートの設定を確認するには、[**ポートの設定**]ボタンをクリックし、[**設定**]ボタンをクリックします。

6. 必要に応じてポートの設定を調整し、[**OK**]をクリックします。
7. [**閉じる**]をクリックして、プリンタの[**プロパティ**]ダイアログを終了します。

適切なシリアル ケーブルの使用法

プリンタとコンピュータは、その双方が、まったく同じピン上に入力データと出力データを持つシリアル ポートを使用するため、一方のポートからの出力データをもう一方の入力データへとクロス オーバーさせる接続の設定方法を確立する必要があります。このような方法で信号をクロス オーバーして接続するシリアル ケーブルは、*ヌル モデム ケーブル*と呼ばれます。一方、コンピュータをモデムに接続するときによく使用される*ストレートスルー ケーブル*は、コンピュータ上のピン 1、2、3、...をモデムのピン 1、2、3、...に接続します。プリンタが、ストレートスルー シリアル ケーブルで接続されている場合は、コンピュータからの出力信号は、この出力信号を受信するプリンタの入力ピンではなく、出力信号を無視するプリンタの出力ピンに送出されます。

注意

新しいタイプの感熱式プリンタでは、ストレートスルー ケーブルが必須になっている機種もあります。懸念される場合は、メーカー提供の取扱説明書を参照してください。

ケーブル接続とフロー コントロール (ハンドシェーク方式)

別の回線をクロス オーバーして、[**ハードウェア**]ハンドシェーク方式オプションをプリンタ側から提供できるようにすることも可能です (この前の「*シリアル ポートの設定*」を参

照)。したがって、最適なケーブルがどれかを決める場合は、プリンタの説明書を熟読することが大切です。汎用的なケーブルの設定では、すべてのプリンタに必要なワイヤ数を上回る数のワイヤが含まれていることがありますが、このように設定することで、広範な機種のプリンタに対応することができます。

注意

感熱式プリンタで最もよく使用されるヌル モデム ケーブルのピン配置図や配線図、および接地方法の注記事項については、使用しているドライバのヘルプを参照してください。

性能向上のための設定

性能向上のためのヒント

TrueType フォント印刷機能など、Windows のグラフィック機能によっては、感熱式プリンタに送信される情報の量が多くなることがあります。したがって、使用するプリンタと PC の設定を最適にする必要があります。

以下のヒントには、印刷速度を最速にし、Windows で設定されたイメージとプリンタで設定されたイメージとの違いを理解するための情報が含まれています。

RS-232 によるシリアル通信をできるだけ回避する

感熱式プリンタの機種によっては、9 ピンまたは 25 ピン (RS-232) のシリアル ポートが標準装備となっているものがありま

す。パラレル ポート、USB ポート、またはイーサネット接続は追加オプションです。プリンタ内蔵のバーコードと書体を使用するだけであれば、RS-232 のシリアル通信で問題はありません。しかし、Windows のグラフィック機能を活用する場合は、パラレル ポート、USB ポート、またはイーサネット接続を使用した方が、はるかに良好なパフォーマンスが得られます。

できるだけ同一のラベルを使用する

同一ラベルを使用すると、ラベル上のグラフィックをプリンタに送るのは 1 回だけで済みます。その結果、最初に送った後のラベルはどれもはるかに高速で印刷されます。

プリンタベースのオブジェクトとフォントか、ダウンロード済みのフォントをできるだけ使用する

通常、Windows のプログラムでは、イメージやダウンロードできないフォントは、ビットマップ グラフィック (印刷速度を遅くする可能性のある処理) を使用してドット単位で描画して印刷されます。感熱式プリンタの多くは、高水準コマンドを使用して、バーコード、ライン、ボックス、拡大縮小可能な定義済み (またはダウンロード済み) のテキスト フォントを出力することができます。たとえば、ある Windows のプログラムでは、大容量のドット別ビットマップ描画によるテキスト イメージを送る代わりに、高速の制御コードをいくつか出力し、プリンタ内の定義済みフォントを使用して印刷することが可能です。

Windows のプログラムでは、イメージをビットマップとして出力しなければならない場合があります。したがって、プリンタに送るグラフィックが多ければ多いほど、印刷速度は遅くなることに注意する必要があります。

印刷機能は必ずしもすべてのプログラムに対応していない

感熱式プリンタに内蔵された特殊機能の多くは、プリンタの種類によって異なります。また、感熱式プリンタと、Windows でよく使用されるプリンタは、まったく異なります。これらの理由から、標準的な Windows プログラムが、感熱式プリンタに使う特定の高水準コマンドにアクセスすることは不可能です。しかし、BarTender はこれらのコマンドを利用できるように設計されています。

付録 A： プリンタ ドライバの トラブルシューティング

付録 A には、印刷時の問題を解決する最適な手順が記載されています。

印刷時の問題を解決するための操作手順

印刷で問題が生じたら、以下のステップを実行します。問題を解決できない場合は、Seagull 技術サポートまでご連絡ください (*付録 B* を参照)。

1. **シリアル ポートの設定のチェック：** シリアル ポートを使用している場合は、使用中のプリンタと Windows の設定のボー率、データ ビット、ストップ ビット、パリティをチェックします (第 3 章の「*シリアル ポートの設定*」を参照)。

   使用説明書に記載された「デフォルト」のプリンタ設定値が、プリンタの実際の設定値として反映されているわけではありません。あらかじめ、機械的なスイッチ (通常プリンタの背面にあります) か、フロント パネルのメニュー設定を直接点検してから、プリンタの通信設定値の構成がどのようになっているかを確認します。
2. **ケーブルのチェック：** ケーブルが適切に接続されているかチェックし、コンピュータの適切なポートに接続されているかをチェックします。Windows のプリンタ ポートの設定が、プリンタ ケーブルの接続先ポートを適切に示しているかどうかもチェックします。
3. **プリンタのステータス ページの印刷：** プリンタの機械的な問題かどうかをチェックするには、コンピュータではな

く、プリンタのコントロール パネルから、プリンタのメモリ内に格納された文書かラベルを印刷します。この文書は、プリンタ モデルに応じて名前が異なります。通常、ステータス ページ、サンプル ラベル、コンフィギュレーション、または設定ラベルなどと呼ばれます。完全な手順については、ご使用のプリンタの取扱説明書を参照してください。テスト文書やラベルを印刷できない場合は、以降のトラブルシューティング プロセスを続行する前に、プリンタの保守点検サービスを受ける必要があります。

注意

プリンタのステータス ページを出力するために、プリンタ スイッチを調整する必要があった場合は、必ずスイッチを元の位置に戻してください。

4. **プリンタの再起動：** プリンタは、直前に失敗したプリント ジョブの後か、最後に通信設定に変更を加えた後に、適切にリセットされなかった可能性があります。プリンタの電源をオフにして 5 秒後に、もう一度電源をオンにしてください。再起動したら、自動テスト手順が完了したことを確認してから印刷を再試行します (ライトは点滅しません。プリンタによっては、**Ready (印刷可能)** という文字や、印刷可能なことを示すライト (通常、緑色です) が表示されます)。
5. **ドライバのテスト ラベルの印刷：** ステップ 1 から 4 を実行した後の最初のプリント ジョブでは、Seagull プリンタ ドライバの[**テスト ラベルの印刷**]機能を使用します。
   a. Windows の[**スタート**]ボタンをクリックします。
   b. [**設定**]を選択して、[**プリンタ**]を選択します。[**プリンタ**]フォルダが表示されます。

c. 設定を変更するプリンタ上で、マウスの右ボタンをクリックし、[**プロパティ**]オプションを選択します。[**プロパティ**]ダイアログが開きます。

d. [**プリンタ設定**]タブまたは[**デバイス設定**]タブをクリックします。

e. [**テスト ラベルの印刷**]をクリックします。

ラベルが出力されない (空白のラベルも含む) か、プリンタ通信エラー メッセージが表示されない (または、この両方) 場合は、ステップ 11 に進みます。そうでなければ、ステップ 6 を続行します。

6. **アプリケーションからのデバイス テキストの印刷：** ご使用のアプリケーションでラベルを作成します。Windows の TrueType ではなく、プリンタ内に定義済みのフォントのみを使用します。このテストで問題がなければ、ラベルにはグラフィックも TrueType も使用する必要はありません。したがって、目的のラベル デザインをすぐに導入し、稼動状態に戻ることができます。

7. **アプリケーションからのグラフィックの印刷（小さいサイズ）：** ごく小さいサイズのグラフィックと、Arial または Times New Roman などの TrueType 文字列の 1 文字をラベルに追加します。最初の文字は 12 ポイントくらいの小さいサイズにします。

   TrueType テキストとグラフィックが印刷されない場合は、プリンタのファームウェアかメモリをアップグレードする必要があります。詳細については、ご使用のプリンタの取扱説明書を参照してください。

8. **アプリケーションからのグラフィックの印刷 (大きいサイズ) ：** TrueType テキストの文字ポイントのサイズを上げ、TrueType で、単一文字ではなく単語を 1 つ以上印刷してみます。このテストで問題がなければ、先に進み、ラベルに必要なグラフィックをすべて印刷してみます。

9. **プリンタのメモリ不足の診断：** TrueType やビットマップグラフィックが、ラベル下部に向かって、ある程度まではすべて完全に印刷されており、ラベル途中で真横に印刷が途切れている場合は、印刷するグラフィックのサイズを出力するだけのメモリがプリンタに不足しています。プリンタのリセラにご相談のうえ、プリンタのメモリをアップグレードしてください。

   ラベルの印刷がそのように真横に途切れるのではなく、不適切なラベル データや壊れたグラフィック イメージが出力されたり、ラベルの出力そのものが行われない場合も、プリンタのメモリ不足が考えられます。ただし、シリアル ポートを使用している場合は、ステップ 10 で説明したフロー コントロール (ハンドシェーク方式) の問題も考えられます (常にプリンタの電源をオフにして、再起動し、この種の障害を追跡します)。

10. **シリアル ポート フロー コントロールの問題の診断：** シリアル ポートを使用して、プリンタにデータをいくつか送った後、印刷ジョブが機能を停止し、通信エラー メッセージが生成された場合は、フロー コントロールの問題が考えられます。

    印刷速度を落として、この問題をテストしてください。たとえば、9600 ボーで印刷した場合は、それより低いレベルの 1200 レベルかそれより下のレベルでテスト印刷ジョブを試してください (Windows とプリンタの両方で、ポートの設定に同じ変更を加えます)。

    ボー率を下げたことで問題が解消した場合、または同様の処理を行ったことによって以降の印刷ジョブで問題が発生した場合は、フロー コントロールの設定値を調整する必要があります。フロー コントロールを[**ソフトウェア**] (**Xon/Xoff**) から[**ハードウェア**] (またはその逆) に切り替えてみます。プリンタで**ハードウェア** フロー コントロール

を使用できるケーブルを使用していることを確認します (プリンタの取扱説明書を参照)。

11. **シリアル ポート ケーブルの問題の診断：** シリアル ポートを使用していて、**テスト ラベルの印刷**が失敗した場合は、ケーブル接続の問題をテストできます。このテストは、フロー コントロールを一時的にオフにして行います (ハンドシェーク方式)。

    a. プリンタの通信設定と Windows のポート設定が一致していることを確認します。

    b. 「ストレートスルー」シリアル ケーブルではなく、「ヌル モデム」ケーブルを使用していることを確認します。

    c. シリアル ポートに対応する Windows のフロー コントロールの設定値を[**なし**]に変更します。次に、プリンタの電源をオフにして 5 秒待ち、もう一度オンにします。

    d. プリンタの電源オンの自動テストが終了したら、小さい印刷ジョブを繰り返します。

    印刷ジョブが成功したら、ケーブルにはフロー コントロール (ハンドシェーク方式) システムとの互換性がないことを確認したことになります。ケーブルの何が問題かを突き止めます。問題を修正し、フローコントロールを[**ソフトウェア**] (**Xon/Xoff**) または[**ハードウェア**]に戻します。

12. **その他の問題の診断：** それでも印刷できない場合は、以下の問題が考えられます。

    - 通信ポートへの割り込みや I/O アドレスで競合するハードウェア製品を別に使用している

      または

    - Windows の詳細設定が適切でない

いずれにしても、コンピュータのベンダか、社内のコンピュータ サポート スタッフに連絡してサポートを受ける必要があります。

考えられるその他の問題：

- 不適切なシリアル プリンタ ケーブルを使用している (または、設定が不適切)。たとえば、簡単な「3 線」のヌル モデム シリアル ケーブルでは、フロー コントロールを[なし]に設定しない限り、Windows 内からの印刷はできません。
- プリンタ ケーブルを接続したコンピュータのポートが不適切。
- コンピュータまたはプリンタのプリンタ ポートが不適切。
- プリンタの電源がオフになっているか、ネットワークが接続されていない。
- コンピュータの通信ポートが、コンピュータ内の他のハードウェア コンポーネントと競合している。

問題を解決するには、1 つずつ確認していく必要があります。

付録 B： 技術サポート

この使用説明書やヘルプ システムを参照しても、なお疑問点が解消されない場合は、以下の電話番号または電子メール アドレス宛てに Seagull の技術サポート部門までお問い合わせください。

注意

Visual Basic Scripting の技術サポートには限界があります。この制限については、BarTender のオンライン ヘルプで *Visual Basic スクリプティングの技術サポート*に関する項目を参照してください。

	米国	欧州
電話	425-641-1408	+31 (0) 30 636 1931
ファックス	425-641-1599	+31 (0) 30 636 2941
	ファックスによる技術サポートのお問い合わせにはファックスで回答いたします。	
E メール	TechSupport@SeagullScientific.com	EuroTech@SeagullScientific.com
	インターネットによる技術サポートのお問い合わせには、インターネットで回答いたします。	

技術サポートを受けるにはソフトウェアの登録が必ず必要です

ご購入後 10 日以内にソフトウェア パッケージに添付されている製品登録カードに記入して返送していただく*必要があります。製品登録カードを返送されていない場合は、技術サポートを受けることができません。*

ご使用のコンピュータのすぐそばから電話してください

技術サポートにお電話いただく際には、BarTender を使用されているコンピュータのすぐそばからお電話ください。ご使用のコンピュータのすぐそばからお電話いただければ、当社の技術サポート スタッフがずっと容易に回答することができます。

索引